

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.107をお届けいたします。

YouTube



FMD
OWNER'S CLUB



9月のTOPICS

■ 妊娠高血圧症候群と血管内皮機能障害

2024年9月21日、22日に行われる第44回妊娠高血圧学会において、弊社はFMD検査装置の機器展示をさせていただきます。

今回は、妊娠高血圧症候群(Hypertensive Disorders of Pregnancy：HDP)に関連する研究のご紹介をいたします。

●HDPにおける非侵襲的評価に関するレビュー●

2024年5月に、HDPの非侵襲的評価に焦点を当てた、血管機能障害に関するエビデンスをまとめたレビューが発表されています。このレビューでは、妊娠初期から出産、産後までの母体の血管内皮機能に関する37件の研究を含むメタ解析を取り上げています¹⁾。このメタ解析では、妊娠高血圧腎症(Preeclampsia：PE)の発症前から発症後のFMDを解析しています。

非PE発症群と比較すると、PE群では発症前の妊娠20～29週頃にFMDが有意に低値でした。PE発症時および出産後(最大3年間)でFMDは有意な低下が認められました。慢性高血圧、喫煙者の除外後でも、同様の結果が報告されています。【1) Hypertension. 2016 Feb;67(2):415-23.】

このレビューでは、上記のメタ解析より、血管内皮機能障害が妊娠高血圧症候群の発症に先行し、その病態生理に影響を与えている可能性があるということが示唆されています。持続的な血管内皮機能障害と妊娠前のリスクファクターとの関連性などは、いまだ解明されていません。しかし、持続的な血管内皮機能障害は、将来の心血管疾患リスクを軽減するための新しい治療アプローチや高度な治療法に適する可能性のある患者を特定できるかもしれないと述べられています。

Front Cardiovasc Med. 2024 May 30;11:1411424.

●HDPにおけるFMDの臨床的価値●

160人のHDP患者と120人の健常妊婦を対象にFMDとHDP関連因子を測定し、ピアソン相関分析をおこないました。

分析の結果、FMD値が正常妊娠から重度のPEまで徐々に低下しており、血漿中一酸化窒素(NO)濃度はHDP群で対照群よりも有意に低く、血漿エンドセリン-1(ET-1)値はHDP群で有意な上昇が認められました。また、HDP群の胎盤成長因子(PLGF)値は有意な低下が認められました。可溶性FMS様チロシンキナーゼ1(sFlt-1)値は対照群よりも有意な上昇が認められました。

FMD値は血漿NO、ET-1、PLGF、およびsFlt1値と相関が認められ、FMD低値はPLGFとsFlt-1の特異的な濃度と関連していることが明らかになりました。

この研究では、FMD値はHDPを予測するための非侵襲的で強力な手段となり得ると結論づけられています。

Clin Hemorheol Microcirc.2022;82(3):265-274.

■ 学会展示会のお知らせ

展示会 第44回日本妊娠高血圧学会学術集会

会期：2024年9月21日(土)・22日(日)

会場：ライトキューブ宇都宮

3階中ホール前ホワイエ

展示会 第72回日本心臓病学会学術集会

会期：2024年9月27日(金)～29日(日)

会場：仙台国際センター

展示会場